

取組事例 1

毎日、児童全員が端末に触れる活動

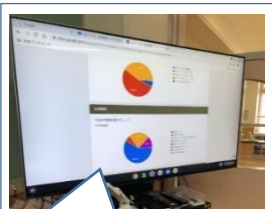
学校全体の取組

児童全員が、フォームを活用して、毎朝の健康観察を実施するなど、授業以外における端末の日常的な活用を、学年の実態に応じて段階的に促している。

【北見市立西小学校】



低学年はタッチパネルで入力する



入力直後に全員の状況を把握する

<活用方法>

- ・児童自身が、フォームで作成したシートに氏名を入力し、出席番号及び健康状態を選択肢から選ぶ。
- ・学級担任及び養護教諭は、児童の回答状況を確認する。

<活用の効果>

- ・児童が、端末を身近な道具として、抵抗感なく活用することができる。
- ・児童全員の回答が自動で集計されるため、全児童の健康状態について、即時に把握することができる。

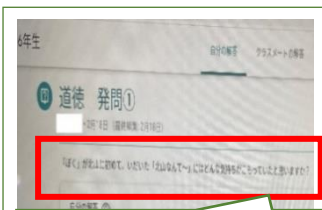
取組事例 2

端末を活用した児童の考えを共有する活動

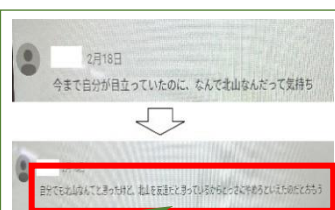
各教科の取組

授業において、クラスルームのコメント機能を活用して、全ての児童が自分の考えや思いを発信したり、全体で共有したりすることができるようにしている。

【網走市立白鳥台小学校】



課題及び発問を共有する



児童の考えの変容を見取る

<活用方法>

- ・教員は、クラスルームのコメント機能を活用して、課題や発問を発信する。
- ・児童は、各発問に応じて、自分の考えをコメント機能を活用して発信する。

<活用の効果>

- ・端末をとおすことで、全ての児童が自分の考えを発信し、全体で共有することができる。
- ・児童から発信された複数の考えから、各児童の考えの変容を見取ることができる。

取組事例 3

生徒個々の状況に応じた学習支援

学校外の取組

適応指導教室に通っている生徒や病気等により継続して登校することができない生徒に対して、ロイノートを活用して、学習課題に取り組みませ、必要に応じて学習支援を行っている。

【北見市立南中学校】



クラウド上で、課題を共有する

<活用方法>

- ・教室内に設置した端末と家庭内の貸し出し用端末をつなぐ。
- ・教員は、ロイノートの共同編集機能を活用して、生徒とクラウド上で課題を共有する。
- ・教員は、ロイノートのコメント機能を活用して、生徒が提出した課題等へのフィードバックを行う。

<活用の効果>

- ・生徒の学習機会を確実に確保できる。
- ・生徒の健康面及び学習面の状況を把握できる。

○ オホーツク教育局義務教育指導班Webページへのリンク

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/okh/gimuhan/gimukyousidouhann.htm>





本資料は、8月4日に実施しました「オホーツク夏の教育セミナー」において、各管内教育研究団体会員に発表していただいた事例を基に、1人1台端末の効果的な活用について作成しています。

本資料では、「オホーツク理科教育研究会」、「オホーツク管内学校体育研究会」、「オホーツク管内特別活動研究会」の発表の中から、「アンケート機能」を活用した取組事例を紹介しています。

各分科会の発表資料については、下記のURLもしくは右のQRコードから閲覧できます。



(URL)

https://drive.google.com/drive/folders/15Ma9AbnpigTzgp0VcHo6Hx8I534_6wVv?usp=sharing

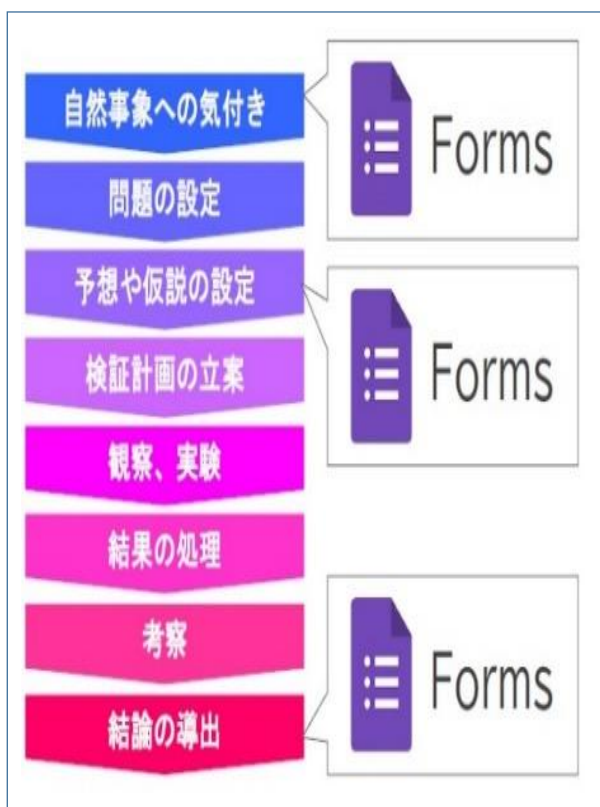
<アンケート機能の活用>

- 全ての児童生徒が自分の考えや思いを発信したり、全体で共有したりすることができる。
- 前時の学習内容の振り返りや学習に関するアンケート等を短時間で実施でき、児童生徒の学習状況等を瞬時に把握することができる。

取組事例 1

アンケート機能の活用①

理科



【単元内における Forms の活用】

<活用方法>

- ・単元の導入段階において、レディネスチェックを実施し、児童の実態を把握する。
- ・Forms を活用して予想や仮説を設定させ、素朴概念や生活経験を引き出し、学習の見通しをもたせる。
- ・終末段階において、学習内容に応じた振り返りを行うことで、児童の学習状況を把握し、授業改善に生かす。

【選択式振り返り】

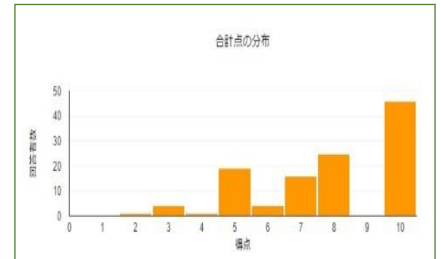
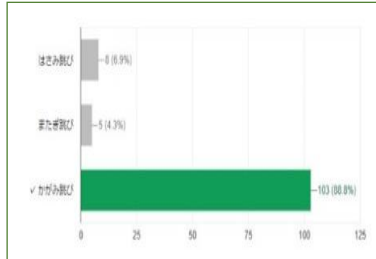
【記述式振り返り】



【Forms を活用した小テスト】

<活用方法>

- ・前時の学習内容等について、生徒が短時間で入力する。
- ・自動採点機能により生徒の回答状況を瞬時に集計するとともに、得点分布による分析により、学級の状況を把握し、指導に生かす。



【自動採点機能による回答結果】

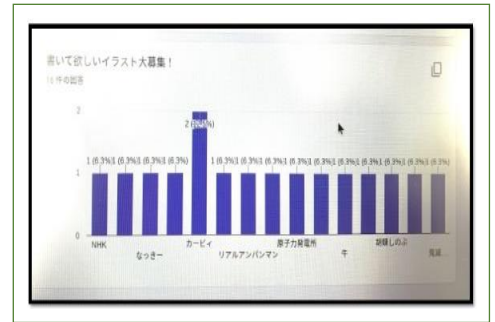
【得点分布による分析】



【Forms を活用した各アンケート】

<活用方法>

- ・児童が各Forms等に入力すると、児童の回答状況を瞬時に集計でき、結果を全体で容易に共有することができる。

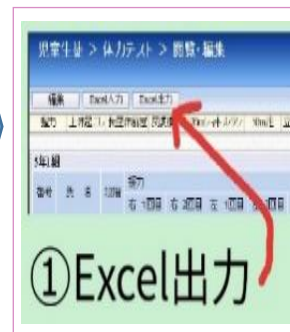


新体力テスト 記録用紙

	1回目	2回目	3回目	目標	学年の目標
握力	男	女	男	女	男 21kg 女 21kg
	男	女	男	女	
上体起こし	男	女	男	女	男 24回 女 23回



【Forms を活用した体力テスト集計】



<活用方法>

- ・体力テストを実施し、結果をFormsに入力する。
- ・入力後、表計算ソフト (Excel) でダウンロードする。
- ・データを「【別添】学校集計表」に学年別、男女別にコピーアンドペーストすることで、効率よく集計することができる。



ファーストタッチ

No. 3

発行日：令和3年10月12日

発行：北海道教育庁オホーツク教育局義務教育指導班

＜オンライン学習の活用＞～やむを得ず学校に登校できない児童生徒への学びの保障に向けて～

- ウェブ会議システムを活用することで、児童生徒が学校での授業にリアルタイムに参加することができる。
- ファイル共有機能を活用することで、児童生徒は板書や課題を送受信し、自分に合った学習を進めることができる

取組事例

1

一部の児童が出席停止等により学校に登校できない場合

同時双方向型のオンラインを活用した学習指導

ウェブ会議

【網走市立網走小学校】



家庭で参加している児童をテレビに映す

グループの近くで撮影し、交流を促す

＜活用方法＞

- ・ 教員は、授業の流れやねらいに合わせて教室を撮影する。
- ・ 児童が同時双方向で交流や発表ができるよう、カメラ及びマイクをグループの近くに設置する。
- ・ 家庭で参加している児童にも、意見を交流したり、発表したりする場面を設定する。
- ・ カメラを使ってノートを見せ合ったり、音声聞きにくい場面はチャットを活用して交流したりするなど、ウェブ会議システムの機能を効果的に活用する。

＜活用の効果＞

- ・ 家庭で参加している児童は、教室での学びと同じように、距離を感じることなく、友達と一緒に学習することができる。
- ・ 家庭で参加している児童は、教室での様子を場面に合わせてみることで、集中して授業に参加することができる。

取組事例

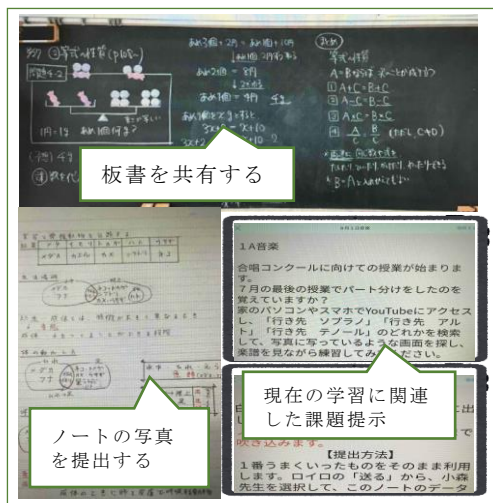
2

学校の全部や一部を休業とした場合

学習課題の配信・提出をオンラインを活用して実施する学習指導

ファイル共有

【北見市立高栄中学校】



板書を共有する

ノートの写真を提出する

現在の学習に関連した課題提示

＜活用方法＞

- ・ 教員は、単元の指導計画から、現在学習していることに関連したポイントをまとめた板書や課題を送信する。
- ・ 生徒は、学習したノート等の記録を写真撮影し、期限までに送信する。
- ・ 生徒から送信された記録について、教員は生徒にコメント等を送信し、次時の授業づくりに生かす。

＜活用の効果＞

- ・ 生徒は学習のゴールが明確になり、主体的に学習に取り組むことができる。
- ・ 学習の成果を記録に残すことで、次時の授業や振り返りに記録を生かすことができる。

○ オホーツク教育局義務教育指導班Webページへのリンク

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/okh/gimuhan/gimukyousidouhann.htm>



ファーストタッチ

No. 4

発行日：令和3年10月10日

発行：北海道教育庁オホーツク教育局義務教育指導班

＜ホワイトボードの活用＞

- 文字や図形を書くこと、付箋を貼ることや画像を拡大縮小することなどの操作が簡単にでき、児童生徒の気付きを促すとともに、考えを整理させることができる。
- 加筆修正しながら共同編集することで、グループや学級全体の考えを可視化することができ、児童生徒の学習意欲を高めるとともに、話し合い活動の充実を図ることができる。

※「オホーツク夏の教育セミナー」において、各管内教育研究団体会員に発表していただいた事例を基に作成しています。

取組事例 1

オンラインホワイトボードの活用①

社会



1人1枚のシートを使うことができる

指を使って画像を移動させることができるよう、シートを工夫する

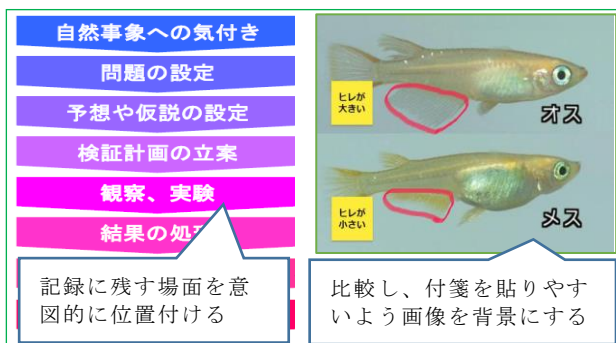
＜活用方法＞

- ・ 教員は、ホワイトボードにいくつかの画像を準備しておき、児童が画像を拡大縮小しながらどのような特徴があるか調べる。
- ・ 児童は、これまでに学習してきたことや気付きを基に画像を分類し、自分なりの考えをもつ。
- ・ 児童は、シートを共有し、本時のねらいに正対した話し合いを行い、課題を解決する。

取組事例 2

オンラインホワイトボードの活用②

理科



記録に残す場面を意図的に位置付ける

比較し、付箋を貼りやすいよう画像を背景にする

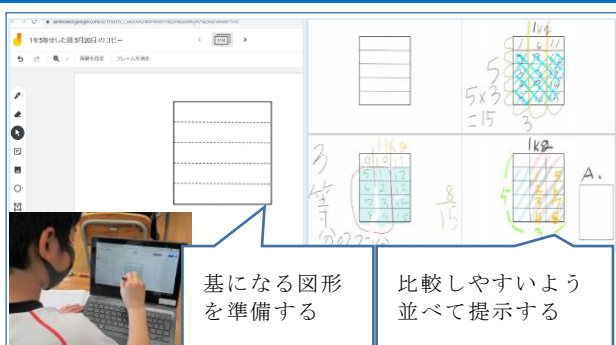
＜活用方法＞

- ・ 教員は児童に比較させるための画像をホワイトボードの背景に設定する。
- ・ 児童は画像を見ながら、違いや共通点などの気付いたことを付箋で貼り付ける。
- ・ 児童は、自分のシートと友達のを比較し、新たに発見したことなどを付箋で貼り付ける。
- ・ 完成したシートは、デジタルノート（学びの履歴）として保存しておく。

取組事例 3

オンラインホワイトボードの活用③

算数



基になる図形を準備する

比較しやすいよう並べて提示する

＜活用方法＞

- ・ 教員は、ホワイトボードに基になる図を準備しておき、児童がペンを使って自分の考えを書き込む。
- ・ 教員は、本時のねらいの達成のために必要な児童の考えを選択して大型提示装置に写し、話し合い活動の視点を明確にする。
- ・ 児童は、対話をしながらいくつかの考え方に付け足しや修正を行い、課題を解決する。

- オホーツク教育局義務教育指導班Webページへのリンク

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/okh/gimuhan/gimukyousidouhann.htm>



